

平成26年度 県立学校における「地域と共にある学校づくり」の取組概要

2	ろう学校
---	------

<平成26年度の取組>

	取組名	活動時間	連携先	取組の概要	実施の時期
1	「ひびき祭(文化祭)」 ダンスワークショップ	⑤ 特別活動(学校行事)		「ひびき祭(文化祭)」の学校企画の行事として、本校小学部・中学部・高等部の児童生徒数名が地域で習っているダンスの講師に来ていただきダンスを一緒に行い楽しんだ。	10月10日
2	「ひびき祭(文化祭)」 餅つき&昔遊び	⑤ 特別活動(学校行事)	g. 地元自治会	「ひびき祭(文化祭)」の学校企画の行事として、筒井校区老人会(「筒井白寿高友クラブ」)8名の方々に来校を願い、餅つきと昔の遊び(こままわし、拳玉、自転車のタイヤリング競争など)を教えてもらいながら伝統文化に親しんだ。	10月10日
3	地域清掃ボランティア	④ 特別活動(生徒会活動) ⑤ 特別活動(学校行事)	g. 地元自治会	中学部・高等部の生徒会活動「地域清掃ボランティア」を筒井地区の神社2箇所(八幡神社・菅田比売神社)で地域の方と一緒にいった。	12月9日
4	地域あいさつ運動	④ 特別活動(生徒会活動)		奈良県高等学校生徒会連絡会の活動のひとつである挨拶運動を行う際に、お付き合いのある地域の方が作製してくださったマスコットを挨拶をする時に配り、挨拶運動の促進に役立たせていただいた。	1月中旬 予定
5	交流教育(幼稚部)	① 各教科の授業 ⑤ 特別活動(学校行事)	a. 保育園・幼稚園	近隣の和歌山県立筒井幼稚園と1979年以来30年以上にわたって集団交流を継続しており、「①きこえる幼児の集団活動に参加して、遊びや生活の経験を広げさせる。②遊びや行事を共有する中で、伝え合う努力や工夫を経験させる。」をねらいとしている。年間計画を共に作成し、毎回担当が詳細に打ち合わせをして、相互に協力して保育にあたった。また、学期に一度はろう学校を訪問してもらい、秋には合同で矢田山への山登り遠足を実施した。交流では、芋掘り・お茶会・サッカー教室・もちつきなどの多彩な経験をさせていただいたが、日常的な保育における遊びやコミュニケーションこそが交流の柱であると位置づけ、伝え合うために努力や工夫をする経験を何より大切にしたいと考えている。筒井幼稚園での集団交流ではなく、自分の居住地域の幼稚園を交流先に希望する場合は、毎週金曜日に保護者付き添いで保育に参加し、担当が学期に1回巡回指導を行った。	
6	交流教育(小学部)	① 各教科の授業 ⑤ 特別活動(学級活動)	b. 小学校・中学校	小学部は、学校間交流として第3・4学年でそれぞれ1回、健聴の同学年の児童と交流した。地域交流では、全学年を対象に年3回程度、居住地域の児童と交流した。同学年の行事や特別活動などに参加したり、時間割通りの教科・学習活動に参加したりした。その他、夏休みのプールに参加など児童の実態に合わせた内容で参加した。また、発達段階に近い児童と交流するため、年3回程度、該当学年の児童が特別支援学校と交流した。相手校の時間割にあわせた活動(自由遊び、朝の会、からだ・リズム、プール、おんがく、給食など)に参加した。さらに、学年交流として他校在籍の聴覚障害児と本校で年に1回全学年での交流会(きらきら☆なかよし交流会)を実施した。	
7	交流教育(中学部)	② 総合的な学習の時間 ③ 特別活動(学級活動)	b. 小学校・中学校	中学部は、学校間交流として、全学年対象に年2回、健聴の同世代の生徒と交流して、障害認識を深めた。9月中旬に奈良女子大附属中等教育学校の文化祭に参加し、見学及び模擬店を利用する中で、生徒同士の関わりを通して交流を図った。また、11月中旬には高田中学校の生徒たちの訪問を受け、自己紹介やゲーム、手紙のやり取り等を通して交流を図った。学年交流として、適宜他校在籍の聴覚障害児と交流し、同学年の難聴学級生と教科学習や日常生活を一緒にすることで、お互いの交流を図った。	
8	交流教育(高等部)	① 各教科の授業 ② 総合的な学習の時間		高等部は、同世代の聴者青年との交流を通じて、相互理解を深めるため、6月に本校の普通科の生徒(1~3年生)が登美ヶ丘高校へ訪問し、授業交流を行った。また、12月に全学科の生徒(1~3年生)が登美ヶ丘高校へ訪問し、クリスマス会交流を行った。	